

有之よし、から戸島より北西は高麗のよし申候、是も海上十里程隔申候よし、からと島も蝦夷の内なり、

〔日本地誌提要七十七〕北海道樺太

疆域 四至皆海、南宗谷海峽ヲ隔テ、北見州ニ對シ、北ハニ哥コ來ライ斯ス海峽ヲ隔テ、魯西亞ニ對ス、北緯四拾六度ニ起リ、五拾三度貳拾分ニ至ル、東西凡四拾五里、南北凡貳百七拾三里、

形勢 地形狹長、委蛇南ニ趨キ、東南一隅彎屈シテ一灣ヲ包ミ、極南兩岬對峙シテ、又一灣ヲ容ル、山嶽盤互、陂澤多ク、氣候寒沍、冰雪常ニ結ブ、土人數種アリ、各地ニ聚落ヲナシ、魯西亞人ト雜居シテ、開拓ニ從事ス、風俗言語殊ニ陋醜ナリ、

〔各國條約書〕日本國魯西亞國通好條約

安政元年甲寅十二月二十一日西曆千八百五十五年二月七日、於下田調印、安政三年十一月十日西曆千八百五十六年十二月

月十日西曆千八百五十六年十二月二十七日、於同所本書交換、略○中

第二條

今より後、日本國と魯西亞國との境、エトロプ島とウルツプ島との間に在るべし、エトロプ全島は日本に屬し、ウルツプ全島夫より北の方クリル諸島は魯西亞に屬す、カラフト島に至りては、日本國と魯西亞國との間に於て、界を分たす、是まで仕來の通たるべし、略○中

安政元年十二月二十一日西曆千八百五十五年第一月廿六日

筒井肥前守花押
川路左衛門尉花押

エフイミュス、プーチャチシ手記

〔日本國郡沿革考四〕屬島唐太一名山丹、又名太夷地清人名薩哈連、或名庫頁、

義使議國境時、又及茲島之事、幕議欲以島中北緯五十度之地爲國界、然議亦不協、暫以隨從所爲